

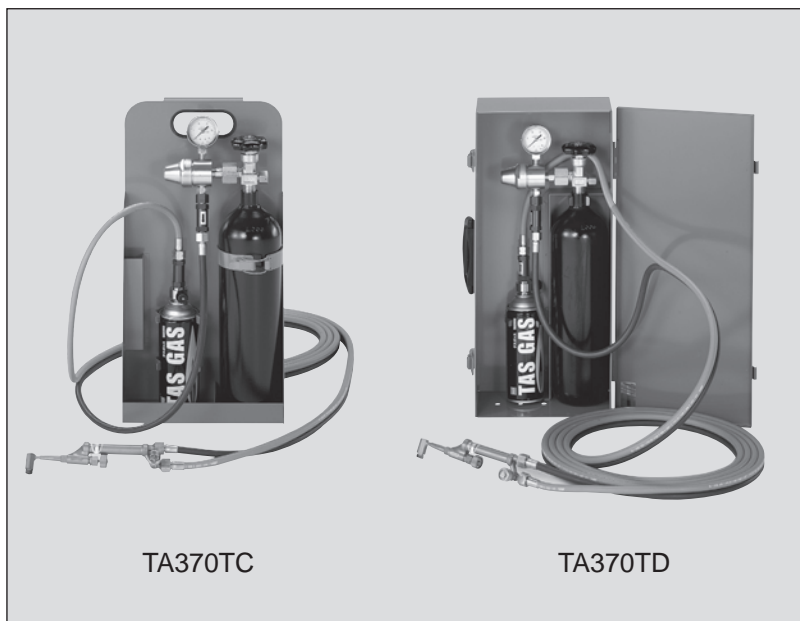


# 携帯用ガス溶接機セット

## TA370TC / TA370TD

### 取扱説明書

この度は、携帯用ガス溶接機セットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用に際しましては、この取扱説明書をよくお読みのうえ、本機の性能を十分に発揮させていただきますようお願い申し上げます。



株式会社 イチネン TASCO



この度は本製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

- 製品のご使用前に必ずこの安全のしおり／取扱説明書をよく読み内容を理解してください。
- この冊子は皆様が安心してお使い頂けるように、特に、「安全の為に守って頂きたいこと」をとりまとめて説明いたします。
- この冊子は、いつでも取り出して読める所に大切に保管してください。
- 製品を借与、又は譲渡される場合は使用方法について充分説明し、この冊子を添付してお渡しください。
- この安全のしおり／取扱説明書を紛失したり破損された場合は、速やかにお買い上げ頂いた販売店にご注文ください。

## 目次

### 安全のしおり

1～3 **必ずお守りください** (安全にお使いいただくために)

⚠ 危険

⚠ 警告

⚠ 注意

⚠ 重要

### 取扱説明書

3 各部名称

4～6 操 作

1 酸素容器へのレギュレーター取付

2 カートリッジボンベ (TA379TG) へのバルブ取付

3 吹管その他の機器の接続

4 漏れチェック

5 点火および火炎調整の手順

6 消火の手順

7 作業終了

6 逆火の処置

6 保守点検

7 修 理

保証書

# 必ずお守りください

(安全にお使いいただくために)

本製品をご使用いただくご本人様および他人に対する事故を防ぐために必ずご使用前に“安全上のご注意”をお読みください。

**⚠危険** **⚠警告** **⚠注意** **⚠重要** の意味について

ここに示した注意事項は「**⚠危険**」、「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**⚠重要**」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- ⚠危険**：回避できなかった場合は、死亡または重傷を負うことにいたる切迫した危険状態となる場合の注意事項に用いています。
- ⚠警告**：回避できなかった場合は、死亡または重傷を負う可能性がある危険状態の場合の注意事項に用いています。
- ⚠注意**：回避できなかった場合、軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある危険状態の場合、および物的損害の発生が予測されるような種類の危険状態になる場合の注意事項に用いています。
- ⚠重要**：当製品を取扱ううえで、法的規制などの当然守るべき基本的な事項に用いています。

**⚠重要** 取扱説明書をよく読み理解してから操作してください。

本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は重大な人身事故および財産被害につながる危険性があります。

本取扱説明書は常に製品のそばに置いて何時でも読めるようにしてください。

本取扱説明書以外にご使用になる機器がありましたら、それぞれの取扱説明書もあわせてお読みください。

**⚠注意** 当製品は、金属の溶接・加熱以外の用途に使用しないでください。

・当製品は、溶接・加熱作業をするに必要な酸素容器、可燃ガス容器、圧力調整器、ゴムホースおよび溶接器などを携帯ボックスに収納したガス溶接器セットです。

当製品をご使用していただく前に必ず本取扱説明書を読み、十分ご理解された上でご使用くださいますようお願い申し上げます。

本取扱説明書に従わなかった場合、重大な人身事故および財産被害に結びつくことがありますのでご注意ください。



**⚠ 危険**

当製品を用いて行う金属の溶接、加熱などの溶断作業において、人身事故や火災などの危険を減少するための安全予防措置として以下の1～11項の事柄を遵守してください。

1 作業場所の換気

作業場所は良好な換気を行ってください。通風換気の悪い場所での溶接、加熱作業は酸素不足になり酸欠の危険性があります。

2 作業場所の整理整頓

火口の火炎、溶接、火花などで着火を起こす恐れのある可燃物が周囲にある場合は、5m以上遠ざけてください。

3 眼鏡、作業服の着用

火花および光から目を保護するために、ガス溶接用保護眼鏡を必ず着用してください。難燃性の作業服、手袋を着用してください。油が付着した作業服、手袋は着用しないでください。

4 損傷機器の使用禁止

損傷していたり、ガス漏れの疑いがある機器を使用しないでください。また、摩耗、ひび割れなど損傷したホースは交換してください。

5 ガスの選定

当製品には酸素およびTASGAS(TA379TG)を使用してください。

6 機器への油およびグリスの禁止

当製品には潤滑油は不要です。油やグリスは高い温度の酸素がある場合は、燃えやすくなり着火や火災の危険性があります。

7 接続部気密の確認

接続部から漏れがあってははいけません。また、ねじ部やホースなどの接続部に大きな力を加えてはいけません。接続部漏れ検査にはマッチなど裸火を使用してはいけません。気密の確認には検知液(石けん水など)を用いてください。

8 機器の取扱い上の注意

機器は慎重に取扱ってください。溶接器はハンマーとして使用したり、溶接、切断部のスラグ落としに使用してはいけません。ゴムホースは折り曲げたりつぶしたりしてはいけません。

9 人体または衣服への酸素の吹き付け禁止

濃度の高い酸素は燃焼を助け、発火しやすくなります。

10 使用後のガス抜きの実施

作業終了時には、容器バルブを閉めてください。その後風通しの良いところで酸素、可燃ガスの両方のホースを別々に空になるようにガス抜きをしてください。

**⚠重要**

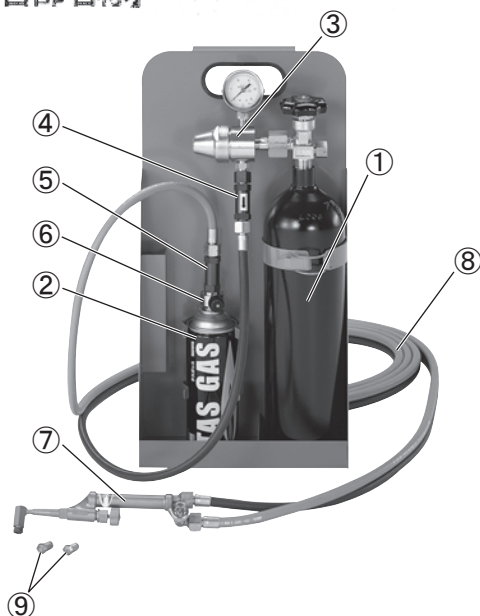
可燃性ガスおよび酸素を用いて金属の溶接または加熱作業を行う場合は、労働安全衛生規則に基づき、下記の1～3のいずれかの資格が必要です。

資格を有しないものは、当製品を使用してはいけません。

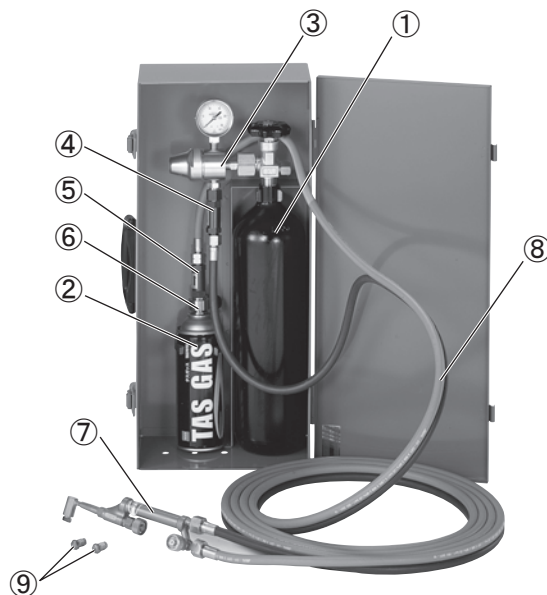
労働安全衛生規則 第41条(就業制限についての資格)

1. ガス溶接作業主任者免許を受けた者
2. ガス溶接技能講習を終了した者
3. その他労働大臣が定める者

**【各部名称】**



TA370TC



TA370TD

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| ① 酸素容器(内容積2.1 l) 約300 l | ⑦ 溶接器本体            |
| ② カートリッジボンベ(TA379TG)    | ⑧ 酸素・可燃ガスホース 長さ:5m |
| ③ 酸素圧力調整器(レギュレーター)      | ⑨ 溶接用火口※           |
| ④ 酸素用簡易安全増装置            |                    |
| ⑤ 可燃ガス用簡易安全増装置          |                    |
| ⑥ 可燃ガスバルブ               |                    |

(付属品)

- ※⑨ 溶接用火口 TA370TC-100 #100  
TA370TC-200 #200  
TA370TC-300 #300

## 【操 作】

- ⚠警告** ・本器内の容器温度が直射日光などにより40℃以上にならないように使用、保管してください。
- ・本器を転倒させたり衝撃を与えないように、大切に取扱ってください。

操作は必ず次の手順にしたがって行ってください。手順に従わない場合は重大な人身事故、財産被害が起こることがあります。

- ⚠警告** 容器の取付ねじ、入口ソケットねじが変形して、圧力調整器およびバルブが取付けにくい時は、無理に取付けしないでください。無理な取付はガス漏れを起こし重大な人身事故、財産被害が起こります。

### 1 酸素容器へのレギュレーター取付

- (1) 容器がしっかりと固定されていることを確認してください。
- (2) 容器の容器バルブに圧力調整器を取付ける前に、容器のガスを数回噴出させ、取付部のホコリ、ゴミ、水分などを吹き飛ばして除去してください。
- (3) レギュレーターの容器取付部のパッキンが正常であることを確認してください。パッキンが損傷している場合は、新品のパッキンと交換してください。
- (4) 取付ナットを容器バルブのねじに手で軽くねじこんでください。
- (5) モンキーレンチまたはスパナを用いて、取付ナットを締め付けてください。

### 2 カートリッジボンベ(TA379TG)へのバルブ取付

- (1) バルブのガスボンベ取付口のOリングが損傷していないことを確認します。
- (2) バルブがしっかりと閉まっていることを確認してガスボンベを捻じ込みます。  
(このとき過度に捻じ込むとボンベの口金が破損します。)
- (3) バルブを取付けましたら、ボンベをフレームにセットします。  
(このときホースにねじれや折れなどが無いことを確認してください。)

### 3 吹管その他の機器の接続

- ⚠危険** 油およびグリスを使用しないでください。使用すると爆発、着火や火災の危険性があります。

- (1) ねじ部など接続部に付着したペンキ、グリスなどの油脂類は完全に除去してください。

- ⚠警告** 圧力調整器とゴムホース、吹管の接続は、ガス漏れのないように確実に締付けてください。

- ⚠警告** 容器バルブを開くとき、身体は圧力調整器に対して斜め前に位置し、圧力計の正面には絶対に立たないようにしてください。

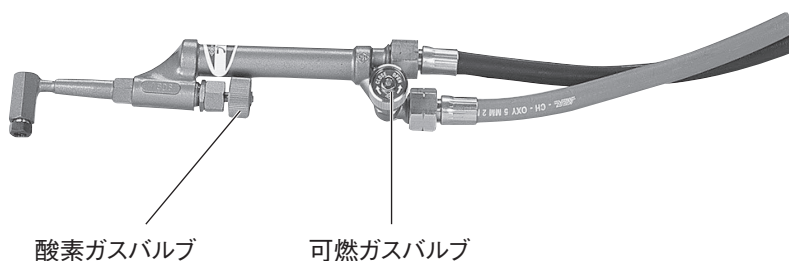
## 4 漏れチェック

- ⚠ 警告** ・各機器をガス漏れ状態のまま使用しますと、重大な人身事故、財産被害が起こることがあります。特に、圧力調整器のカバー、圧力計などねじこみ部および安全弁からの漏れが発見されたらただちに使用を中止し、すみやかに当社または当社販売代理店にご連絡ください。
- ・安全弁のセット圧力は変えないでください。安全弁は、出流れその他で出口圧力が異常に上昇した場合、作動します。出荷時にセットされた値を変えると重大な人身事故につながります。

- (1) 各機器および各接続部に検知液（石けん水など）を塗布し、漏れがないことを確認してください。漏れが発見されたら、締付部の増し締めなどを行い、漏れのないことを確認してから使用してください。
- (2) 使用中、休憩その他のためにガスの使用を一時中止するときおよび容器を取り換えるときは、容器のバルブを閉じ、吹管およびゴムホースのガス抜きを吹管のバルブで別々に行い、その後、吹管などのすべてのバルブを閉じてください。

## 5 点火および火炎調整の手順

- ⚠ 警告** ・逆火の大半は始業時に発生していますので必ずガス置換を行ってください。
- ・点火にマッチなど裸火を用いないでください。手順を間違ったり溶接用ライター以外での点火は逆火および火傷などの危険性があります。



- (1) まず可燃ガスバルブを半回転開き、直ちに溶接専用のライターで点火してください。
- (2) 火炎が火口先端部以外で点火しないことを確認してください。
- (3) 次に酸素ガスバルブを少しずつ開いてください。
- (4) 火炎の調整は、1) 可燃ガス、2) 酸素ガスの順序でバルブを操作し、中性炎にしてください。



## 6 消火の手順

溶接終了後は、1) 酸素ガスバルブ、2) 可燃ガスバルブの順で閉じ、火炎を消火してください。

## 7 作業終了

**⚠危険** 作業終了後、各バルブが開いた状態となっておりますと、酸素および可燃ガスが供給された場合、生ガスが流失し、事故が発生します。

- (1) 容器バルブを閉じ、通風の良い場所で酸素バルブおよび可燃ガスバルブの順で別々に開きガスを抜いてください。
- (2) 吹管の各バルブは必ず閉じてください。
- (3) カートリッジボンベはバルブから取り外して持ち運びしてください。

### 【逆火時の処置】

**⚠危険** ・逆火を放置したままにしておきますと吹管の混合管が赤熱・溶損し、炎が吹き出したりまた、ゴムホースの爆発事故を起こし非常に危険です。  
・続けて数回逆火した吹管、火口は危険です。交換または修理に出してください。

- (1) 作業中逆火を起こした場合にはただちに吹管の 1) 酸素ガスバルブ、2) 可燃ガスバルブを閉じてください。
- (2) 火口の清掃、締付直し、火口取付部よりのガス漏れチェックなど、逆火の原因になる事項に関する対策を実施した後、再使用してください。
- (3) 火口の清掃には専用の掃除針を使用し、火口を傷つけたり、変形させたりしないでください。

### 【保守点検】

**⚠注意** 安全および性能維持のため、保守点検は必ず行ってください。保守点検を怠りますと重大な事故が起こることがあります。

- (1) 始業時に検知液（石けん水など）にて圧力調整器、吹管、ホースなど、各接続部からの漏れのないことおよび各バルブからの外部漏れ、圧力調整器の出流れのないことを点検してください。
- (2) 少なくとも1ヶ月に1回吹管は圧力を加えた状態で水に浸け、各バルブの漏れを点検してください。
- (3) 酸素ホース、可燃ガスホースの表面にひび割れがあるもの、および長期間使用のものは内部にススが付着している恐れがありますので取替えてください。
- (4) 常に清潔に保ち油脂類が付着しないようにしてください。
- (5) 使用機器にはダイヤフラム、Oリングなどのゴム製品が使用されています。ゴム製品は長い間には劣化が起こります。作業環境、作業頻度に応じて、1年を目安として定期検査を行ってください。

## 【修理】



**危険**

・下記の故障が確認された場合は、ただちに当社または当社販売サービス店にご連絡ください。

- (1) 圧力調整器の出流れ。
- (2) 圧力調整器からガスが漏れる。
- (3) 圧力計が破損している。
- (4) トーチヘッドと火口の当たり不良、変形および傷のついたもの。
- (5) 逆火を繰り返す吹管・火口。
- (6) 各接続およびバルブの当たり不良。
- (7) その他、不適合箇所があるもの。

・機器は使用者が分解修理・改造などを行うと重大な人身事故発生の原因となりますので絶対しないようにお願いいたします。

No. \_\_\_\_\_

# 保証書

## 保証規定

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合無償で修理いたします。
2. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
3. 保証期間はご購入後1ヶ年以内です。
4. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
  - ① 不適當な取扱い使用による故障
  - ② 設計仕様条件等をこえた取扱い、または保管による故障
  - ③ 弊社もしくは弊社が委託した者以外の改造または修理に起因する故障
  - ④ 消耗品に類する故障
  - ⑤ その他弊社の責任と見なされない故障

品名	携帯用ガス溶接機セット				
形式	TA370TC	製造 番号			
	TA370TD				
ご購入	年 月 日				
保証期間	ご購入日より1ヶ年				
お客様	お名前 _____				
	ご住所 _____				
	電話番号 _____				
販売店	住所・店名 _____				

※販売店さまへ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。



株式会社 **イチネン TASCO**

〒577-0002 大阪府東大阪市稲田上町1-17-20

TEL : 06-6748-9260 FAX : 06-6748-9270





## 株式会社 イチネン TASCO

本社：〒577-0002 大阪府東大阪市稲田上町 1-17-20  
TEL 06-6748-9260 FAX 06-6748-9270

東京支店：〒108-0023 東京都港区芝浦 4-2-8  
住友不動産三田ツインビル東館 9 階  
TEL 03-3453-8166 FAX 03-3453-8186

物流センター：〒577-0002 大阪府東大阪市稲田上町 1-17-20  
TEL 06-6748-9280 FAX 06-6748-9290

名古屋営業所：〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞 2-15-17  
TEL 052-871-1886 FAX 052-871-1906

九州営業所：〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊 2-5-7  
TEL 092-471-1202 FAX 092-471-1212

HP アドレス：<http://www.tascojapan.co.jp/>

この製品の使用方法に関する技術的なご質問は、  
タスコテクニカルサポートセンターへ  
TEL: 06-6748-9240